



## ～ 自他共栄～ NO.22

2025年1月20日

発行責任者 根岸 大智

編集責任者 情 宣 部



### 2025年 新春学習会 青年部決意表明

1月10日に開催された「JR貨物労組 2025年新春学習会」において、青年部を代表して本部青年部・千葉事務長が決意表明を行ないました。池尻体制を引きついで半年、試行錯誤しながら組織運営を展開する中で2025年をどういう年にするのか、考えを示しました。

#### 決意表明 要旨

- ・ 昨年定期全国委員会で新たに根岸青年部長体制が発足し、東北・関東・東海・関西の各地青においても新体制が発足しました。しかし、**担い手の課題は常に付きまとっている。「すべての取り組みを組織強化・担い手づくりにつなげていく」**ことを全国の青年部組織が実践し、**個別具体的な担い手づくりを進めていこう！**
- ・ 東海労裁判を闘う津崎議長を全力で支えるべく、職場討議資料を活用して情勢認識の深度化を進め、貨物労組の団結力を示していこう！  
**青年部は組合員の雇用と生活、未来を守り抜くために規約・規則と機関決定に基づく当たり前の組織運営を追求していく。**
- ・ 2025JR総連春闘では、秋の闘いで明確となった組織課題を克服するべく、機関開催の徹底と双方向性のある連絡体制の構築に加え、分会青年部主催の職場集会の開催に取り組んでいく。**各分会の協力が必要不可欠となるので、ともに「見える春闘」をこだわって作り出していきましょう！**

**ヘビーな状況でも上を向き、脱皮を繰り返し、一つでも多く実(巳)を結んでいけるよう  
青年部が最先頭で奮闘し、2025年を共に闘い抜こう！！**

